

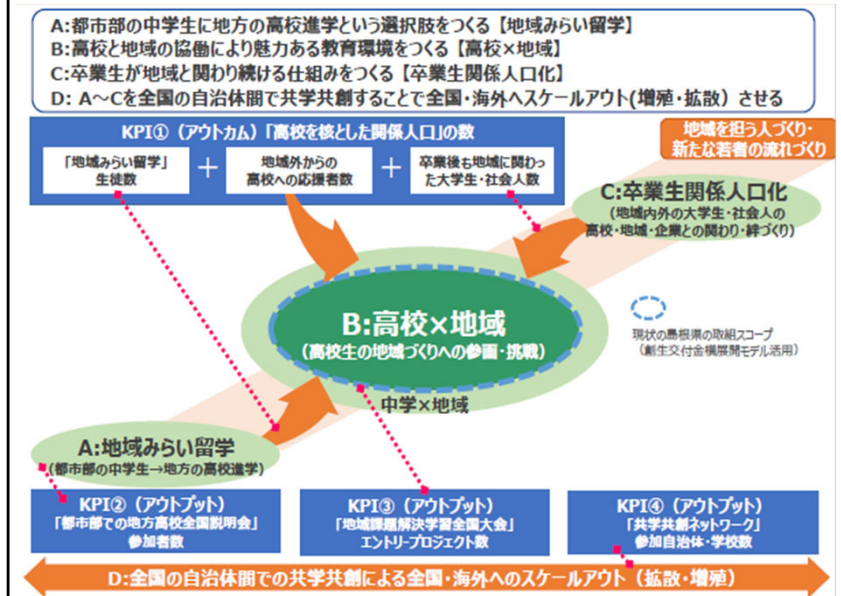
地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト】

推進当初

申請者	島根県ほか90自治体※	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	7,218,804千円 (1,743,947千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	中学卒業段階で地方への高校進学を日本の当たり前にする 1.地方の魅力的な教育環境を全国の先駆的な自治体と一体となって都市部へ届けることで、地域の高校留学という選択肢をつくる 2.高校と地域の協働により魅力ある教育環境をつくる 3.高校卒業生が地域と関わり続ける仕組みをつくる 4.共学共創により全国へスケールアウトさせる		
事業概要・ 主な経費	1.地方の魅力的な教育環境を全国の先駆的な自治体と一体となって都市部へ届けることで、地域の高校留学という選択肢をつくる ○地方の魅力ある教育環境や受入体制について都市部等へのプロモーション ・WEB・広報宣伝費 38,551千円 ○都市部等で中学生親子に向けた合同説明会「地域みらい留学フェスタ」開催 ・開催負担金 70,265千円 2.高校と地域の協働により魅力ある教育環境をつくる ○地域・学校・行政が連携し地域外生徒を受入れる体制を整備 ・ハウスマスター等人件費・活動費 71,081千円 ・寮の運営委託料 283,051千円 3.高校卒業生が地域と関わり続ける仕組みをつくる ○人づくりの拠点となる公民館や大学等と連携し大学生や若者が地域活動に主体的に参画できる機会を創出 ・モデルづくり経費 18,443千円 4.共学共創により全国へスケールアウトさせる ○「高校魅力化評価指標」を導入・実装することで地域と連携した取組の価値を見える化し、全国の自治体へ価値を発信 ・「高校魅力化評価指標」導入・分析負担金 10,165千円		
KPI	①「高校を核とした関係人口」の数 (+2,725人) ②「都市部での地方高校全国説明会」参加者数 (+1,803人) ③「地域課題解決学習全国大会」エントリープロジェクト数 (+765件) ④「共学共創ネットワーク」参加自治体・学校数 (+38団体)		

※経費内訳はR6年度事業費



関連URL

(交付金の具体的使途・実施体制)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/education/kyoiku/koukoumiriyoku/>

(効果検証)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/56kaihatushinngikai.html>

事業概要【島根の特徴を生かした魅力ある産地づくり】

推進当初

申請者	島根県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	802,662千円(200,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・地域の強みや特徴を生かした産地づくり・拡大を推進する ・有利販売のための付加価値向上を推進する ・意欲のある担い手が安定的に産地に参入し、持続可能で活力ある農林水産業の実現を目指す		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○産地づくりを始める地域等への初期支援 ・県推進6品目に新たに取り組む農業者への支援や沿岸自営漁業者の協業化に向けた実証経費を支援 29,753千円 ・地域をけん引する経営体の初期支援 29,840千円 ○特徴ある生産を行うために必要な取り組みへの支援 ・モデル性の高い産地の育成支援経費 20,000千円 ・肉用牛や有機農業の生産支援経費 54,713千円 ・ICT化等による収穫量増加、コスト削減にかかる経費 1,646千円 ・JAS認定取得にかかる経費を支援 800千円 ・島根の特徴を生かした農林水産物の研究経費 10,488千円 ○販路開拓・拡大への支援 25,602千円 ○産地づくりにかかる環境整備支援 27,158千円 ■県推進6品目  キャベツ  タマネギ  白ネギ  ミニトマト  アスパラガス  ブロッコリー		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県推進6品目の産出額（+35億円） ②モデル的な取組を行う産地数（+13箇所） ③県内原木生産のうち製材用原木の取引割合（+4%） ④沿岸自営漁業の年間産出額（+2億円）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.shimane.lg.jp/sanchi_shien/ （効果検証） https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/56kaihatushinnngikai.html

事業概要【地域の農林水産業をけん引する「中核的担い手」育成プロジェクト】

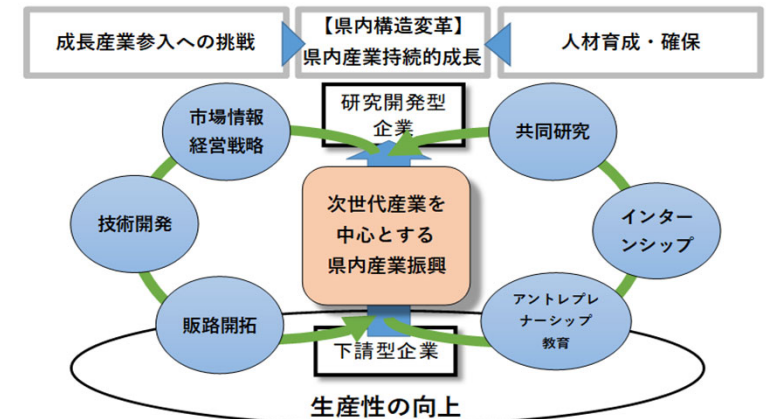
推進当初

申請者	島根県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	835,672千円(200,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・多様な担い手が、新規就業から自営独立、経営規模拡大まで意欲的に取り組む環境を整える ・持続可能で活力ある農林水産業の実現を目指す ・新規就業者が中山間地域に定住し、中山間地域のリーダーとして中山間地域の維持・活性化に向けて大きな役割を担うことを目指す		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○多様な担い手の確保 ・情報発信、相談、誘致体制の強化にかかる経費 20,576千円 ○自営就業者等の育成経費 ・農林大学校における人材育成経費 26,015千円 ・雇用就農者の自営就農開始支援にかかる経費 4,168千円 ・自営漁業者育成のための研修経費 27,528千円 ○「中核的な担い手」への成長を目指す規模拡大支援経費 ・農地をまとめて借入れる認定農業者等の支援経費 23,000千円 ・漁業技術のレベルアップのための講習会開催の経費 5,700千円 ○新規就農者等の環境整備支援 93,013千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①販売額1,000万円以上の中核的経営体の育成数（+402経営体） ②認定新規就農者数（+300人） ③林業就業者数（県内就業者総数）（+100人） ④新規自営漁業者数（+75人）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.shimane.lg.jp/nogyokeiei/ （効果検証） https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/eisaku/keikaku/singikai/56kaihatushinnkai.html

事業概要【ものづくり・IT産業競争力強化プロジェクト】

推進当初

申請者	島根県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	883,245千円 (196,636千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	地域経済を牽引している、「ものづくり産業分野」、「IT産業分野」において、成長のための基盤強化、新しい取組への支援を進め、県内経済の活力を高めていく。これにより、良質な雇用を生み出し、県内に住み働く人を増やしていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	・技術振興AD、技術CDによる産学マッチング支援 22,428千円 ・各種専門展示会、商談会等への出展及び出展支援による新規販路開拓 26,400千円 ・企業の海外展開を段階的に支援する、講演会・セミナー、展示会出展等の開催 22,100千円 ・県外から即戦力人材を確保するための転職フェア・相談会等の開催 33,600千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①製造業・IT産業における従業員の増加数 (+849人) ②製造業の従業員1人あたり年間付加価値額 (+154万円) ③ソフト系IT産業の売上高 (+75億円)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.shimane.lg.jp/sangyo/ (効果検証) https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/56kaihatushinngikai.html



申請者	島根県雲南市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	142,506千円(43,963千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的(効果)	雲南市は従来の地域コミュニティが衰退しており、新たなチャレンジの創出に必要なコミュニティの互助機能との連携が難しいため、地域コミュニティの再構築が求められている。地域の中には不登校や引きこもりなど様々な課題があり、地域住民同士の互助をベースとした地域の支え合い体制を構築することで、課題に対して早期にアプローチし、心と身体健康寿命を延伸するために「医療者への接触機会の提供」と「孤独・不安・退屈の解消」を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	本事業の若き担い手、美容院や郵便局など地域の事業者、地域コミュニティ組織、行政関係機関等が立場を超えて集まり、対話と協働を促す共同会議体（「おせっかい会議」）を創設し、地域住民同士の互助をベースとした地域の支え合い体制を構築する。 ○おせっかい会議実施運営費42,826千円 ○持続的な運営体制と住民による自走化支援 ・ソーシャルインパクトモデル（SIB）の検討と構築660千円 ○相互扶助のネットワークの構築を促進させるため、デジタル活用人材の育成 経費477千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①要介護認定の人数の減少数（+105人） ②「おせっかい会議」の参画者数（+210人） ③助け合える地域であると感じる市民の割合（+1.3%） ④地域や社会を良くするために自分にもできると思う中学3年生の割合（+6%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和6年6月公表予定 （効果検証） https://www.city.unnan.shimane.jp/unnan/shiseijouhou/jouhoukoukai/sousei/2023-0930-1803-26.html



地域おせっかい会議の様子

推進当初

7

事業概要【文化資源を核とするインバンドマーケティング及び観光ブランディング事業】

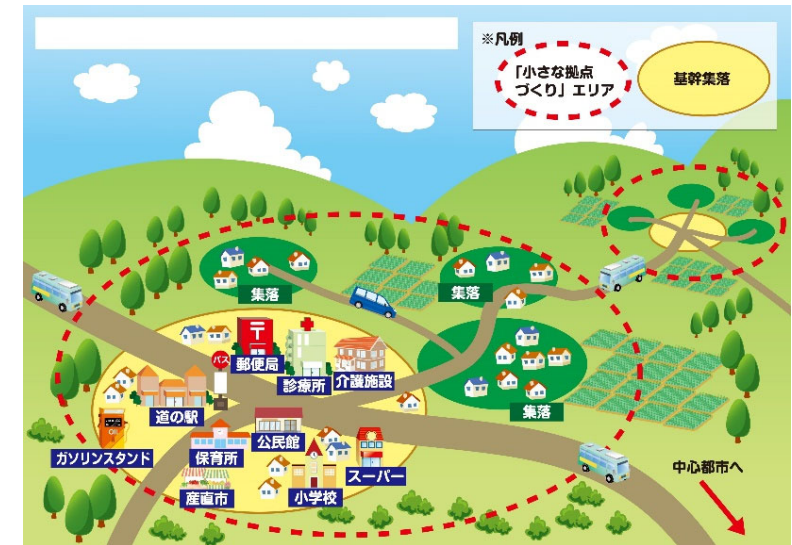
推進当初

申請者	島根県海士町	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	355,830千円 (62,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	最大の観光名所である隠岐神社周辺の観光客ニーズへの対応の遅れにより、地域の優れた歴史・文化的な価値を経済的活動に活かしていない。本計画においては、隠岐神社周辺の賑わいの創出に向けて「滞在型エリアのゾーニング」を視点とし、ハード改修も含めた宿泊施設の魅力化による外国人観光客対応や中長期滞在型コンテンツの造成等の施策を通じて経済的波及と当町の更なるブランド力向上や雇用の確保を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○海外有識者を招いての「島の文化会議」事業 (委託料) 20,000千円 ○インバンド対応となる地域資源のアーカイブ化事業 (委託料) 2,500千円 ○高付加価値な観光コンテンツ開発及びインバンド誘客業務 (委託料) 15,800千円 ○「後鳥羽院御遷幸800年」を節目とした各種イベント開催と、 関連行事による文化資源の磨き上げ事業 (委託料) 13,700千円 ○中長期滞在促進による経済好循環・地域活性化事業 (委託料) 10,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①外国人来島者数 (+820人) ②関連事業者における雇用者数 (+15人) ③関連WEBの年間閲覧ページビュー数 (+85750PV) ④期間内における各種交流事業への累計参加交流数 (+10,400人)		関連URL http://www.town.ama.shimane.jp/gyo-sei/torikumi/post-88.html

事業概要【しまねのチカラ！組織連携による地域の自立性向上プロジェクト】

推進当初

申請者	島根県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	717,729千円 (125,595千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	地域運営組織の運営の維持が難しい地域において、担い手の確保や、複数の公民館エリアにおける連携、自主財源の確保により、構造的な課題を解決し、地域運営組織の持続につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○中山間地域の生活機能の維持・確保を図るために、単独の公民館エリアにおいて新たに担い手の確保に取り組む人材の配置を支援 ・地域運営組織への人材配置支援、実践活動支援（ソフト事業）（補助金） 23,516千円 ○複数の公民館エリアにおける機能の分担や集約など、より広い範囲での取組への支援を開始し、モデルとなる地区を構築し、広く県内に波及させる ・現場支援（人件費、会場使用料等） 12,419千円 ○地域運営組織が新たに取り組む収益事業に対し支援 ・生活交通バス実証運行・実行計画策定経費の支援（補助金） 38,361千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①生活機能の維持・確保のための実践活動に取り組んでいる公民館エリア数【当該年度3月時点】（+50エリア） ②生活機能の維持・確保のための実践活動の数【当該年度3月時点】（+125活動） ③地域の実情に応じた生活交通の確保に向けた実行計画を策定する市町村数【当該年度3月時点】（+13市町村） ④担い手不在集落解消数【当該年度4月～3月】（+275集落）		
		関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/region/chiiki/chusankan/tiisanakytendukurinokasokuka.html （効果検証） https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/56kaihatushinngikai.html



事業概要【"ご縁も、美肌も、しまねから。"～新たな魅力で人を呼び込む観光地域づくり～】

推進当初

申請者	島根県ほか3自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,344,857千円(284,416千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的(効果)	・歴史文化等をテーマとした“ご縁”に、新たな強みである“美肌”を加えた観光コンテンツの磨き上げを図る。 ・“ご縁も、美肌も、しまねから。”のキーワードを中心に、島根県の認知度拡大と観光誘客促進を図る ・幅広い層の女性をターゲットとして情報発信を強化し、「新たな魅力で人を呼び込む観光地域づくり」を実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○美肌モデル事業の造成・販売支援(島根県)【7,050千円】 ・地域資源を活用した商品造成・販売支援、専門家等伴走支援 ○民間企業との連携(島根県)【14,485千円】 ・誘客プロモーションの実施や旅行商品の造成支援 ○旅行会社や交通機関等と連携した誘客推進(島根県)【7,400千円】 ・観光情報説明会の実施等 ○情報発信・メディアプロモート【159,154千円】 ・メディアタイアップや各種媒体を活用した情報発信等 ○誘客推進事業(松江市)【85,000千円】 ・美肌、温泉、癒し等の魅力を広く発信する取組、観光地域づくり ○新たな美肌コンテンツの磨き上げ等(安来市)【4,000千円】 ・「さぎの湯温泉」を核としたエリアブランドの強化、プロモーション等 ○美肌観光推進事業(浜田市)【7,327千円】 ・美肌がキーワードとしたエリアコンテンツの一体性、ストーリー性確立  地域の新たな 観光コンテンツ造成  ターゲットへの情報発信と認知拡大 地域一体となった 誘客推進 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額(+484億円) ②観光入込客延べ数(+9,936千人) ③宿泊客延べ数(+932千人) ④「美肌県しまね」の認知度(+5.8%)		
	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/gyosei_hyouka/ https://www.pref.shimane.lg.jp/tourism/tourist/kankou/gaiyo/bihadakenshimanesuishin.html (効果検証) https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/56kaihatuushinnigikai.html	

※島根県、松江市、安来市、浜田市の広域連携事業

事業概要【縁結びからはじまる、しまねの応援プロジェクト～笑顔あふれる結婚・子育て・働き方支援～】

推進当初

申請者	島根県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	194,058千円（60,021千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	・結婚を希望する独身の方へのお引き合わせ支援などにより、結婚の希望を叶える環境づくりを図る ・しまね縁結びサポートセンターへの相談登録者等を増やし、マッチング機会の提供を図る ・社会全体で子育てを応援する気運の醸成を図る ・企業等のワークライフバランスの取組を支援し、子育てをしながら働き続けやすい職場環境の実現を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○市町村の結婚支援事業を支援 ・市町村結婚支援強化交付金 17,500千円 ・民間イベント補助金 3,000千円 ○子育て支援サービスを提供する「協賛店」の登録促進 ・店舗訪問等による登録促進（委託料）1,620千円 ○女性の希望する働き方を支援 ・スキルアップセミナー開催経費（委託料）3,819千円 ○ワークライフバランスを実現させる取組を支援 ・男性の家事・育児参加促進 5,514千円 ・イクボスセミナー、イクボスネットワーク企業交流会の開催経費（委託料）14,563千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①「しまね縁結びサポートセンター」を通じた婚姻数（+385組） ②結婚を希望する「はぴこ」利用申込者及び「しまこ」会員数（+280人） ③こころ事業の協賛店舗数（+200店） ④こころカンパニー認定企業数（+210社） 関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） ○https://www.pref.shimane.lg.jp/kodomo_kosodate/ ○https://www.pref.shimane.lg.jp/josei_katsuyaku/（効果検証） https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/56kaihatuushinngikai.html		

事業概要【若者の県内就職促進プロジェクト】

推進当初

申請者	島根県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	846,855千円（199,255千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	・島根で育った若者が島根で働けるよう、高校、専修学校、高専、県内外の大学等と連携し、高校生や県内外に進学した学生の県内就職を促進する。 ・若者の県外流出による人口減少、県内企業の人材不足へ対応を図る。 ・地域 I T 人材の育成・確保を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○高校生向け ・高校生と企業との交流会や教員や保護者等を対象にしたセミナー等の開催等（委託料等） 39,182千円 ○県内大学生等向け ・県内高等教育機関と連携して実施する低学年向け企業交流会や就活生向け企業説明会の開催経費等（委託料等） 35,932千円 ○県外大学生等の県内就職促進事業 ・県外での低学年次からの支援を行う学生就職アドバイザーの配置や合同企業説明会の開催経費等（委託料等） 64,894千円 ○地域 I T 人材育成・確保 ・県内各学校で行う授業の企画運営経費や学生とIT企業との交流イベント開催経費（委託費） 35,391千円	 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内大学等の県内就職率（+5.5%） ②県外4年制大学の島根県出身者の県内就職率（+2.0%） ③高校卒業時の県内就職率（+7.1%） ④県内教育機関から県内 I T 企業への就職者数（+70人）	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) ➢ https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/employ/koyo_syugyo/shien/kennaisyusyokusien.html ➢ https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/daigakurenkei.html ➢ https://www.pref.shimane.lg.jp/itsangyo/ (効果検証) ➢ https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/56kaihatushinngikai.html

12

事業概要【地域経済を牽引！強くしなやかな食品産業育成プロジェクト】

推進当初

申請者	島根県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	392,989千円（100,409千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	地域経済を牽引する企業を育成するため、国内・海外の様々な業種への販路拡大に必要な商品開発・改良等を支援する。また効果的に事業を実施するため、商工団体等の関係機関が連携・伴走支援を行う。 これにより、自ら営業・販路開拓・生産拡大を行うことのできる事業者を早急に育成し、原材料供給事業者の売上増や雇用増へつなげ、地域経済の活性化を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○県産原材料を用いて、国内・海外への販路拡大を目指す食品・飲料製造事業者を対象に、商品開発・改良等に係る取組を支援し、地域経済を牽引する企業を育成 36,210千円 ○県外で開催される展示会での「島根県ブース」の設置やバイヤーを県内に招聘する「島根県産品展示・商談会」の開催等 44,241千円 ○商談会開催等による海外販路開拓支援 8,900千円 ○海外展開戦略策定支援、商談セミナー等による人材育成支援 4,171千円 ○海外ECサイト等での情報発信・効果測定 6,887千円   県外展示会での「島根県ブース」の設置 「島根県産品・展示商談会」の開催  Webカタログを通じた県産品県産品拡大		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①雇用の増加（+884人） ②付加価値額の増加（+821,000千円） ③県産原材料の調達額の増加（+400,000千円） ④加工食品等の輸出実績額（+1,200,000千円） 関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.shimane.lg.jp/brand/ （効果検証） https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/56kaihatushinngikai.html		

事業概要【MATSUE起業エコシステム推進事業】

推進当初

申請者	松江市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	86,666千円（20,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	若い世代が「成長することができる」「仲間や人脈ができる」「ノウハウや資金を得られる」社会システム、即ち「若い世代の挑戦から実現に至るまでの成長過程をオーダーメイドでデザインし、そのデザインを地域の産官学金機関が互いのノウハウや資源を提供しあいながら実現まで伴走する『MATSUE起業エコシステム』」の形成を通じて、若い世代の「松江に住みたい・戻りたい」「松江を選ぶ」につなげ、地方創生を実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○コミュニティ運営 ・企画運営（委託料）6,000千円 ○起業等相談支援・事業化支援 ・企画運営（委託料）4,000千円 ○支援機関研修 ・資金調達環境整備に関する検証業務（委託料）3,000千円 ○アントレプレナーシップ教育 ・プログラム実施支援（補助金）5,500千円 ○プロモーション ・コンソーシアム運営経費 300千円 ・企画制作（企画制作費・広告料）1,200千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業で実現した起業等の事業化件数（当該年度目標値9件） ②本事業で実施した起業等イベントの参加人数（当該年度目標値1,200人） ③本事業で行った起業等の相談・支援件数（当該年度目標値500件） ④本事業で実施したアントレプレナーシップ教育への参加人数（当該年度目標値60人） 関連URL https://www.city.matsue.lg.jp/shikikarasagasu/shinsangyousoujouka/kigyousougyou/kigyou/3732.html		

14

事業概要【縁結びデジタルプロモーションによる「出雲ファン」の創出】

推進当初

申請者	島根県出雲市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	31,056千円 (10,352千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・デジタルを用いた市のプロモーションを積極的に行う。 ・プロモーションにより「出雲」に対し興味関心を持つ人を増やし、出雲のファン「交流人口」の増加を図る。 ・更に興味関心を持つ人に観光、移住・定住、産品の情報を届け、交流人口から「関係人口」、「定住人口」へとつながる裾野の拡大を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【専用ウェブサイトから各ウェブサイトへの誘導】 出雲に興味を持ちそうな人に対して、動画広告等を出し、専用ウェブサイトへ誘導。更に閲覧者が専用ウェブサイトから観光や移住等各ウェブサイトを開覧するよう繋げる。 インターネット広告費 4,982千円 動画広告制作費 880千円 【インターネット広告からの各ウェブサイトへの誘導】 より明確にターゲットを絞ってインターネット広告を出し、各ウェブサイトへ直接誘導する。 インターネット広告費 4,018千円 【広告出稿状況報告】 レポート作成費等 472千円 縁結びデジタルプロモーション（総括） （左） 目的：出雲の潜在的なファンに興味・関心に応じた広告を配信し、個別サイトへ誘導する。 （左） 概要：年間を通じて各サイトへの誘導広告を配信 （左） ↑↓ 縁結びデジタルプロモーション（個別サイト） （左） 目的：ある程度明確な目的を持った出雲ファンへ必要な情報を届ける （左） 概要：年間又はイベント等にあわせて各サイトへの誘導広告を配信 （左） 出雲人 （左） IZUMOZINE （左） （産業政策課） （左） 出雲ブランド商品 （左） おいしい出雲 （左） （商工振興課） （左） ジョブ・ナビ （左） IZUMO （左） （産業政策課） （左） 出雲観光ガイド （左） Izumo （左） （観光課） （左） Ancient Japan （左） Izumo （左） （インバウンド推進課） （左） いずもな暮らし （左） 出雲市ふるさと納税 （左） （縁結び定住課） （左）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県外（国内）からの転入者数（+360人） ②観光入込客数（+321万人） ③ウェブサイトの閲覧件数（+44.1万件）	関連URL	https://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/1703062108454/index.html

事業概要【道の駅瑞穂でつなぐ邑南町地域づくりプロジェクト事業】

推進当初

申請者	島根県邑南町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	180,044千円（66,062千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・集荷体制整備による出荷の仕組みづくりや、農業の継続・発展、交通・福祉の観点も含めた農業振興を図る。 ・町内全域の地域づくり活動の場となり、地域づくり情報を発信する交流拠点となるよう集客を図る。 ・町内外問わず、来場した誰もが過ごしやすい、環境や憩いの場づくりと交流による意識醸成の深化を目指した施設となるような環境づくりを図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域をコーディネートする仕組みづくり事業 ・実証実験・支援業務（委託料）12,156千円 ○地域と道の駅瑞穂をつなぐ仕組みづくり事業 ・支援業務（委託料）5,797千円 ○住民主体の地域づくり事業 ・地域団体事業費（補助金）25,200千円 ・支援業務（委託料）11,709千円 ○各地区の事業促進のため、提案に対する施設整備事業 ・施設整備提案型補助事業（補助金）10,000千円 ・備品購入費 1,200千円  島根の玄関口 邑南町の12地区とつなぐ道の駅 邑南町にある全12地区から産品が集まる産直市、学生や家族でも楽しめる広場やカフェ、地元の食材が食べられる飲食店、そして道の駅から12の地区へ向かうツアー。邑南町の12地区とつなぐ道の駅の計画を、令和7年度のオープンに向け進めています。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①野菜や加工品の新規出荷者数（累計+18人） ②住民ワークショップの参加者実数（累計+200人） ③事業を通じた新商品の開発数（累計+4個） ④事業を通じた道の駅での新しい催事の開催数（累計+6回）	関連URL	https://www.town.ohnan.lg.jp/www/index.html

事業概要【海士の水産業底上計画】

推進当初

申請者	島根県海士町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	188,691千円 (66,477千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・漁村としての持続可能な体制構築づくりを図る ・漁業者の所得向上や新規漁業従事者増加のため、市場のほか、飲食店など多くの販路拡大を図る ・資源保全のため、藻場・環境保全の向上を図る ・新規漁業者の担い手確保のため、募集活動の充実による雇用促進を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	〇ICTや省力化を促進した沿岸漁業への取り組み ・漁獲向上や出荷の省力化に取り組み事業者への実証委託 (委託料 10,454千円) ・養殖効率化委託 (委託料 7,464千円) 〇販路拡大 ・販路拡大委託 (委託料 18,092千円) ・市場、小売店、店舗向け生産現場紹介ツアー旅費 (費用弁償 4,825千円) 〇藻場保全への取り組み ・ウニ駆除・藻場保全 (委託料 6,000千円) 〇環境保全のための未使漁船調査と廃船促進 ・廃船補助委託 (委託料 8,000千円) 〇ナマコ育成と養殖業の強化 ・養殖場、ナマコ育成調査委託 (3,000千円) 〇新規漁業者の担い手確保機会拡充 ・募集活動の充実 (委託料 6,060千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①海士町漁協の漁獲金額 (+58百万円) ②海士町漁協の漁獲量 (+34.6トン) ③増加販路件数 (+13件) ④新規漁業者人数 (+6人)	関連URL	http://www.town.ama.shimane.jp/gyosei/torikumi/post-88.html

事業概要【人の還流による「滞在人口」創造事業】

推進当初

申請者	島根県海士町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	358,500千円 (75,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	これまで実施してきた教育移住の取組の更なる魅力化と新たな需要発掘（保育島留学）、受入体制の拡大を実施することで、教育人口の拡大を図る。 また、新たに中短期的の滞在者が入れ替わりながら、結果として年間を通じて、1名分の人口を成す場合にその人口を「滞在人口」と捉え、その滞在人口を増加させ、継続的に還流していく仕組みを構築することで、年少人口以外の社会増及び人口構造の改善を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「大人の島留学（短期・中期）」事業の実施（委託料）11,880千円 ○青年海外協力隊員の派遣前後研修の実施（負担金）5,000千円 ○企業と連携した短期滞在型研修の実施（負担金）5,000千円 ○「地域共創科」創設による「島留学（高校生）」の更なる魅力化と受入規模拡大（委託料）21,120千円 ○「保育島留学（保育園）」の実施（委託料）11,000千円 ○滞在者還流の仕組みづくり（委託料）18,000千円 ○地域の働く場の魅力化事業の実施（委託料）3,300千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じた年間の滞在人口数（+150人） ②事業を通じて滞在した者の内、滞在期間終了後に移住・定住した人口数（+46人） ③事業を通じた教育機関、自治体連携機関数（+13機関）	関連URL	http://www.town.ama.shimane.jp/gyosei/torikumi/post-88.html

事業概要【～出雲力で地域と人が輝く～持続可能な観光地域づくり】

推進当初

申請者	島根県出雲市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	281,671千円 (86,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・周遊滞在・消費促進のため、観光施設情報を整備しGoogleで検索できるようにしたり、二次交通対策を行う。 ・繁閑差をなくすため、365日楽しめる体験コンテンツ等を造成する。 ・ロイヤルカスタマーの獲得や関係人口を増やすため、SNSにより出雲ファンにダイレクトにアプローチする。 ・持続可能な観光地経営を進めるため、マーケティングの強化や機運醸成に努める。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○周遊滞在・消費環境の整備 ・GBP整備、周遊観光タクシー造成、シェアサイクル導入など（委託料）7,500千円 ・シェアサイクル用自転車購入3,500千円 ○戦略的コンテンツの充実、高付加価値化 ・「365日楽しめる出雲」の創出など(委託料・負担金)26,100千円 ○個人とつながる情報発信等による出雲ファン獲得 ・様々な媒体を活用した情報発信など（委託料）15,600千円 ○2025大阪・関西万博を見据えた国内外旅行者の誘客 ・効果的なプロモーション、広告配信など（委託料）17,400千円 ○観光地経営体制の構築 ・DMO組成、観光計画策定など（委託料）15,900千円 365日楽しめる出雲 - Izumo365プロジェクト -		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①宿泊者数 (+117,434人) ②外国人宿泊者数 (+18,419人) ③観光入込客延べ数 (+2,002,489人) ④観光消費額 (+11,135百万円)	関連URL	https://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/1703062108454/index.html

事業概要【産業維持・活性化デジタルプラットフォームの構築と活用等による地域産業の継業・創業促進事業】

推進当初

申請者	島根県海士町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	316,667千円（100,000千円）
事業タイプ・ 類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	- デジタルを活用して地域内外の人材・知識をつなぐ仕組みをつくと共に、外部の人材が島に訪れやすくする環境を整備する事で、事業経営・専門スキルの継承の促進を図る - 地域内電子通貨を導入し、同時に地域の消費ニーズを可視化することで、域内消費の市場縮小の抑止を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	地域内消費を喚起するためのデジタルサービスとして地域電子通貨の導入・利用データの海士町版RESAS上での可視化、町内事業者のデジタル利活用環境構築を行い、またサービスの地域への普及促進活動を行う ① 地域電子通貨サービス構築：24,200千円 ➢ 要件定義（ソリューション選定、機能、データ定義 等）、開発・テスト ② 町内事業者のデジタル利活用環境構築：21,450千円 ➢ 要件定義（ソリューション選定、機能、データ定義 等）、開発・テスト：11,550千円 ③ 海士町版RESASとの連携による地域電子通貨利用データの可視化：16,500千円 ➢ 要件定義（画面、データ定義 等）、開発・テスト ④ システム運用保守：24,640千円 ➢ システム運用保守・継続改善作業、地域電子通貨ソリューション利用料、決済手数料、クラウド運用 ⑤ 普及促進活動：9,910千円 ➢ 個別サービスに関する住民・事業者などに向けた説明会実施、相談対応、サポート等		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 町内事業所における継業・創業件数（+12件） ② 町内事業所への働き手の増加数（+27人） ③ 町内事業所の事業開始前との年間売上対比における経年のポイント増加数の平均（+6.0ポイント）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証）調整中

申請者	島根県松江市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	36,570千円 (12,890千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・IT業界と非IT業界が相互に影響を与えながら成長し、地域経済を牽引していく構造に転換する ・事業づくりをするために必要とする環境を整備し、エンジニア個人や小規模チームなど、より小さな粒度のきめ細かな後押しをする ・地元企業と海外企業等との協業等による事業拡大を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○エンジニアと地元事業家によるハッカソン等の実施 ・企画運営（委託料）2,200千円 ○エンジニアが地域で挑戦するために他業種の仲間や解決すべき案件と出会うプラットフォームの構築 ・構想検証（委託料）4,400千円 ○エンジニア本位の事業化機会の提供 ・ビジネスプランコンテスト実行委員会組成・運営（負担金）2,000千円 ○新産業誘致 ・構想検証（委託料）3,300千円 ○プロモーション ・企画制作（委託料・消耗品）990千円 2.2 基本構想 目指す姿 TECH STEP JUMP / テック ステップジャンプ デジタルのチカラで、夢をカタチにするまち・松江 これまでの事業の柱 Ruby City MATSUE 人材育成 企業誘致 コミュニティ アプローチ 【挑戦】 自らの能力を最大限に発揮できる環境づくり 【共創】 業種や分野、コミュニティ等を越えた共創の場づくり これからの事業の柱 Ruby City MATSUE 2.0 事業化支援 人材育成 企業誘致 コミュニティ 基本姿勢 オープン・マインド&コミュニケーション オープン・マインド（開かれた精神）とコミュニケーションが、コミュニティを豊かにし、夢をカタチにする		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+55人） ②プロダクトアイデア事業化件数（+8件） ③プロダクトアイデア創出件数（+180件） ④市外スタートアップ等とのコンタクト数（+12件）	関連URL	https://www.city.matsue.lg.jp/sa/ngyo_business/sangyoshinko/RubyCityMATSUE/index.html

申請者	島根県松江市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	51,991千円 (12,991千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	- 観光振興によって地域の「稼ぐ力」を引き出すため、データを分析・活用した戦略に基づいて地域の多様な関係者を巻き込みながら一体となって取り組む「舵取り役」となる観光推進組織（日本版DMO）を確立する - 日本版DMOが地域のマーケティングを継続的に行い、関係者への情報共有や誘客戦略の立案等を通じて、地域内をマネジメントするとともに地域の観光消費額の最大化を図る		
事業概要・ 主な経費	○(一社)松江観光協会の組織体制強化によるマーケティング実施体制の確立（補助金） ・マーケティング機能の導入 2,943千円 ・マーケティングをふまえた具体的な誘客戦略の企画・立案 3,482千円 ・地域マネジメント機能の整理 2,256千円 ・候補DMOへの登録申請 319千円 ○イベント効果検証調査事業（補助金） ・企画戦略立案 1,165千円 ・事業調整、交渉 736千円 ・デジタルツールを用いた動態等の調査 1,540千円 ・ヒアリング等による実態把握 550千円 ※経費内訳はR6年度事業費		
KPI	①地域における観光消費額（+93億円） ②観光宿泊客数（+33万人） ③データ分析に基づき企画した誘客戦略の件数（+5件） ④観光協会における専門人材の採用人数（+2人） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値		（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.matsue.lg.jp/kanko_bunka_sports/kankojoho/13045.html （効果検証） https://www.city.matsue.lg.jp/gyoseijoho/7/2/7/16143.html

申請者	島根県大田市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	18,762千円（6,331千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・大田市が誇る豊かな食、観光資源を活用した商品開発や販路拡大を支援し、地域経済の活性化を図る。 ・山陰道の全線開通に向け、大田市の魅力発信を強化することで、市内への周遊を図る。 ・ECサイトを活用した生産者の新たな販路拡大を支援し、持続的かつ安定的な収益及び販路の確保を図る。 ・当該事業で開発した商品や重点推進品目のブランディングを行うことで事業者（生産者）のノウハウ向上を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○市内事業者の地域資源を活用した商品開発や商品の販路拡大に取り組む経費を支援 ・商品開発等への取組みに対する支援（補助金）5,100千円 ・有識者審査会開催経費（謝金、費用弁償、需用費）231千円 ○ECサイトの運営や市内事業者のブランディングに関する経費（委託料） ・運営費 500千円 ・ECサイト登録に向けたサポート経費 250千円 ・重点推進品目のブランディング支援経費 250千円	大田市の豊かな地域資源  【大田の大あなご】 【白ネギ】 【石見銀山大森地区の街並み】 大田市の魅力発信 商品開発支援 ↓ ECサイトを活用した販路拡大 ↓ 大田市への周遊促進（外貨の獲得）、地域活性化 事業者（生産者）の持続的な成長・発展	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農林水産出荷額（+12百万円） ②ECサイト販売金額（+9,000千円） ③県外向け商品開発・販売企業（+15社） ④道の駅市内事業者取扱商品の割合（+2.5割）	関連URL https://www.city.oda.lg.jp/ohda_city/city_organization/25b/4799/316/19443	

申請者	島根県大田市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	4,500千円 (1,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	行政・産業団体・学校・企業等で構成される「大田地域人材確保促進協議会」等との密接な協力関係を活かす中で、若年層の移住・定住の前提条件となる地元企業への就職促進に取り組み、結婚・出産へとつなげ人口減少を抑制することで、地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	UIターン就職促進事業（大田地域人材確保促進協議会への委託 1,500千円） 委託内容 ①「大田市版キザニア」 市内小学生、中学生及び保護者に対し、市内企業の魅力を早期から認知してもらうことを目的とする。 イベント開催経費：400千円（会場使用料、消耗品費） ②「おおだ学生応援隊」制度の創設 既存の「おおだ学生アンバサダー」を大学生目線で考える就職イベントの企画担当に変更し、企業情報と就職イベントの集客を担当する「おおだ学生応援隊」を新たに制度創設する イベント開催経費：300千円（会場使用料、消耗品費） ③市内企業の情報発信強化 大田市で就職イベントを開催し、大学生等を招くのではなく、市内企業と連携を図り、大田地域人材確保促進協議会が主催する県外就職イベントを実施する。（想定場所：広島県） 県外イベント開催経費：600千円（会場使用料、消耗品費） ④オープン企業の実施 市内高校生が夏休み等の長期休暇の際に、高校生と保護者が市内企業を見学することができるオープン企業（オープンスクールの企業版）制度を大田地域人材確保促進協議会において実施する 実施に係る企業募集チラシ等の経費：200千円（市内高校2校×100千円）（印刷製本費、消耗品費） <pre>graph TD OdaCity[大田市] -- 委託 --> Association[大田地域人材確保促進協議会] Association -- ターゲット --> InCity[市内の学生と保護者] Association -- ターゲット --> OutCity[市外の学生] InCity --> Elementary[小学生] InCity --> Middle[中学生] InCity --> High[高校生] OutCity --> University[大学生] Elementary --> Guardians[保護者] Middle --> Guardians High --> Guardians Elementary --> Kizania[大田市版キザニア] Middle --> Kizania High --> Kizania Elementary --> Open[オープン企業] Middle --> Open High --> Open OutCity --> Support[おおだ学生応援隊 + 学生企画就職イベント] Kizania --> Events[就職イベント（広島）] Open --> Events Support --> Events Association -- 意識改革 --> Info[サイトによる情報発信] Association -- 参加による情報発信 --> InCityEnter[市内企業] InCityEnter --> Association Association -- 大田地域人材確保促進協議会が行う事業 --> Events</pre>		
KPI	①地域へのUIターン者数（+15人） ②就職イベントへの市内企業の平均参加率（+30.0%） ③市内高校生とその保護者の市内企業を10社以上知っている割合（+15.0%） ④市内高校生の就職者数の内、市内就職率（+9.0%）	関連URL	https://www.city.oda.lg.jp/ohda_city/city_organization/25b/4799/316/19443

事業概要【地域と都市が共創するTaMaRiBaづくりプロジェクト～新たな関係人口の創造～】

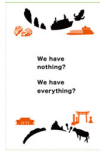
推進当初

申請者	島根県江津市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	154,843千円 (53,100千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	新たに地域での取組みを担う一員として、関係人口や交流人口の流入を促進し、当該人材と地域が共創し、創造的な取組みの実践の場づくりを行政がバックアップを行い、4者（関係人口・交流人口・地域・行政）の取組みにより、地域の賑わいが創出される。併せて本取組みの様子を、在京テレビ局を活用して発信することで、本市の知名度の向上、関係人口および交流人口の増加が見込まれる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○メディアを活用したシティプロモーション事業 ・テストプロモーション実施に関連する企業とのマッチング支援（委託費）：3,000千円 ・テストプロモーション（マイナースポーツの大会開催などの菰沢公園を活用した新規の取組み）の実施（委託費）：12,000千円 ・公園を活用したテストプロモーション実施までの取組みの様子を収録し、本市をPRするための番組配信イベント制作および動画配信サイトへの掲載（委託費）：12,500千円 ○公園の新規活用（企業向けアウトドア研修施設）導入事業 ・オリジナル版の研修プログラムを構築するための調査・制作費（委託費）：1,000千円 ・研修事業等に係る備品購入（消耗品費）：3,000千円 ○公園内施設の魅力化事業 ・公園内幼児用遊具周辺の休憩施設整備のための工事請負費：11,600千円 ・公園内園路整備のための測量設計業務 委託料：2,000千円 ・公園内園路整備のため工事請負費：8,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（+30人） ②菰沢公園内キャンプ場の利用者数（+950人） ③菰沢公園でのイベント実施回数（+16回） ④GOTSU Crew（市が任命する、関係人口と定義され、市に深く関係し共創しようと活動する人）の人数（+25人）	関連URL	https://www.city.gotsu.lg.jp/life/1/11/53/



事業概要【海士町ブランドのD2C化から繋げる人材還流促進事業】

推進当初

申請者	島根県海士町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	199,600千円（73,400千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	デジタル実装を前提とした「海士町ブランド（世界観）」のD2C化事業を推進し、地域にとってLTVの高い「良質な関係人口」を増やし・育てていくことで、「地域内外における新たな需要創出」と「地域への人材・資金の流入強化」を図りつつ、関係人口として会員登録されている人々から結果的な移住者の増加を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○海士町関係人口の多角的潜在価値リサーチ事業 （委託料）28,000千円 ○「海士町ブランドのD2C化から繋げる人材還流促進事業」全体の企画運営マネジメントに関する業務 （委託料）24,600千円 ○島の食の魅力化に関する業務（委託料）8,800千円 ○デジタル実装に関する業務（委託料）12,000千円	海士町アンバサダーカード ①ホワイト 年会費1万円  ②ブルー 年会費3万円  ③シルバー 年会費10万円  ④ブラック 年会費20万円  ©海士町	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン者数（+19人） ②海士町オフィシャルアンバサダー登録者数（+250人） ③海士町オフィシャルアンバサダーカードを通じた紹介者のうち実際に来島した人の数（+350人） ④海士町オフィシャル法人アンバサダー制度加入数（企業または団体など）（+5団体）	関連URL	http://www.town.ama.shimane.jp/gyosei/torikumi/post-88.html

事業概要【環境×教育×観光による持続可能な地域づくりプロジェクト】

推進当初

申請者	島根県隠岐の島町ほか 4 自治体※	初回採択回	令和 6 年度第 1 回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	88,230千円（31,210千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・地域連携 D M O（一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構）を中心として持続可能な地域社会の実現を図る ・ D M O 組織マネジメント体制強化により、高度な観光地経営を図る ・地域OTA事業の拡大により、観光属性データの取得及び D M O の収益源確保を図る ・データマーケティングに基づいた効果的効率的な情報発信により、国内外からの誘客を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○マネジメント体制強化 ・マネジメント専門人材確保 4,010千円 ・ D M O の人事・人材開発に係る委託経費 5,000千円 ○ツーリズム事業の立ち上げ ・地域OTA運営に係る委託経費 7,000千円 ○効果的効率的な情報発信 ・to Bプロモーション 5,000千円 ・to Cプロモーション 10,200千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+992百万円） ②観光客数（+10,205人） ③地域OTAへの参画数（+66施設/体験） ④DMOの定職率（+20%）	関連URL	https://www.e-oki.net/ https://www.oki-geopark.jp/

※島根県、隠岐の島町、西ノ島町、海士町、知夫村の広域連携事業

地方創生推進タイプ (補正予算分)

事業概要【2025大阪・関西万博を契機とした島根の魅力発信事業】

人材育成	観光振興	ローカルイノベーション
○	○	

推進補正

申請者	島根県、島根県松江市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	79,068千円
事業タイプ	地方創生推進タイプ・補正予算分	事業分野	観光分野
目的（効果）	・島根県が魅力ある観光地として外国人観光客に認知されるよう、「ご縁」や「美肌」をテーマとした観光コンテンツを情報発信する。 ・島根県を訪れた外国人の満足度が高まり、口コミや評判が広がり、新たな観光客の獲得につなげるため、着地型コンテンツ等を充実させる。		
事業概要・主な経費	○特徴ある魅力の情報発信及びゲートウェイを基点とした周遊観光等のPR ・タビマエのデジタル情報発信等（委託料）8,420千円 ・大阪・関西圏での観光案内所等へのコンシェルジュの配置及び観光案内所職員等を対象とした島根県実地研修（委託料）11,960千円 ・タビナカでのデジタル情報発信（委託料）5,280千円 ・大阪・関西圏にある観光案内所や宿泊施設等での情報発信（委託料）8,340千円 ・「松江インバウンド促進協議会」による万博と連携したツアーの造成や、着地型コンテンツの造成（負担金）20,243千円 ○地域間の観光客の均衡化に向けた情報発信 ・大阪市内での情報発信拠点の設置（委託料）20,000千円		
KPI	①地域における観光消費額（+561億円） ②外国人宿泊客延べ数（+153.9千人） ③石見銀山への観光入り込み客数（+6.6千人） ④島根大学卒業生の県内就職率（+0.6%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.shimane.lg.jp/tourism/tourist/kankou/kokusai/kokusaikanko.html （効果検証） https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/56kaihatushinnikai.html



↑インバウンド向け情報発信



↑モニターツアー



← 関西圏の観光案内所等での情報発信

地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

事業概要【人が集う松江の新たな日常を生み出すプロジェクト「旧日銀松江匠工房整備事業」】

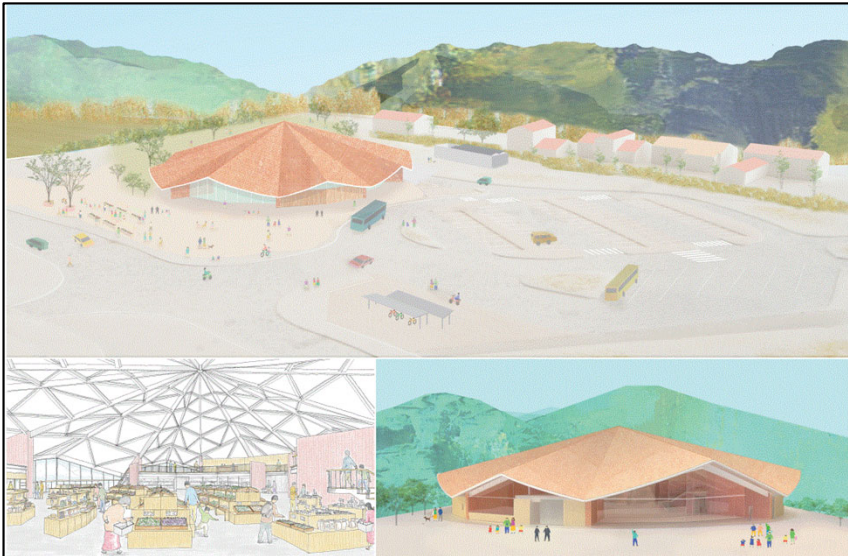
拠点当初

申請者	島根県松江市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	614,583千円 (347,204千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分) ※R6年度はR5年度補正予算により早期執行	事業分野	観光分野
目的 (効果)	「旧日銀松江匠工房」を地域製品の販売・開発、フードセンター、伝統工芸の体験、観光案内などを行う施設として再整備し、施設を核とした市内周遊促進及びインバウンド等の誘致、地域製品の磨き上げによる観光消費の拡大を図る。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	「旧日銀松江匠工房」において、地域製品の販売・開発、10のテナントをもつフードセンター、伝統工芸の体験、観光案内などを行う施設として再整備し、市民にとっては日常的に訪れる憩いの場として、また観光客にとっても松江の豊かな日常を体感し、何度も訪れたい場所として観光需要の掘り起こしを図る。 ○施設整備等 (設備整備・用地造成を除く) の内容 【建築物本体工事】 建築工事費 153,863千円 【建築物と不可分な設備工事】 電気設備工事費 100,868千円、給排水衛生設備工事費 16,356千円、空気調和設備工事 21,827千円 ○効果促進事業 (ハード事業) の内容 【建築工事費】 煙突撤去工事等 10,637千円、ウッドデッキ改修 20,292千円、サイン改修等 13,276千円 【電気設備工事費】 9,335千円 【給排水衛生設備工事費】 750千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額 (+24,790百万円) ②施設売上高 (+451,000千円) ③インバウンド観光宿泊者数 (+130千人) ④歩行者・自転車通行量 (+1,380人)		関連URL (松江市ホームページ) https://www.city.matsue.lg.jp/saangyo_business/sangyoshinko/7/karakoro/index.html (カラコロ工房ホームページ) https://karakoro-kobo.com/



事業概要【複合拠点としての道の駅瑞穂再整備事業】

拠点当初

申請者	島根県邑南町	採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R6年度	交付対象事業費	1,128,332千円（916,166千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分） ※R6年度はR5年度補正予算により早期執行	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	現在の道の駅瑞穂を再整備し、「町内の地産地消」「地域資源（人・もの・こと）につなぐ交流拠点」として位置づけるとともに、学びと交流を行う場として、デジタル技術を活用した「WEB公営塾」等のDX活用による子どもの教育環境の確保や教育格差の解消、加えて職業体験・農業体験を提供できる機能を併設した複合施設としての道の駅施設を整備し、道の駅・産直市にとどまらない、総合的なまちの拠点機能を強化する。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	再整備後の道の駅において、「おおなんアプリ」の展開による、生産者支援や情報発信による売り上げ及び集客力向上をはかるとともに、デジタル技術を活用した教育環境の整備などを行い、教育格差の解消等、子どもの居場所を併設した複合施設としての道の駅施設を目指す。 ○施設整備等の内容 【建築物本体工事】 建築工事費 731,775千円 【建築物と不可分な設備工事】 電気設備工事費 43,032千円、機械設備工事費 140,454千円 ○効果促進事業（ソフト事業）の内容 【デジタル端末・機器整備】 905千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①道の駅瑞穂年間来客数（累計+7万人） ②産直市新規出荷者数（累計+145人） ③WEB公営塾受講者数（累計+400人） ④邑南町への観光入込客数（累計+29万人）		関連URL https://www.town.ohnan.lg.jp/www/index.html

地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

事業概要【島根県物産観光館改修事業】

拠点補正

申請者	島根県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	558,910千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・県内唯一の百貨店閉店に伴い、幅広い島根県産品の魅力に触れられる場としての機能を大幅に強化 ・県産品のインスタ調理や職人による伝統工芸品の製作体験を通じた県産品の販路拡大を図る ・県内事業者の商品開発・改良を伴走支援し、県産品のさらなる魅力向上・競争力強化を図る		
整備内容・利活用方策	○県内唯一の百貨店閉店に伴い、島根県産品を一堂に展示・あっせんする「島根県物産観光館」に県産食材等のイートイン機能を整備するとともに、デジタルサイネージを用いて県産品の魅力を幅広く発信する機能を大幅に強化 ・施設整備 548,870千円 ○POSレジデータの販売状況を東京のアンテナショップとオンラインで共有し、消費者動向を踏まえたデジタルマーケティングにより県内事業者の商品開発を伴走支援 ・オンライン共有システム開発・導入経費 10,040千円  島根県物産観光館		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産出荷額（+5,636千円） ※野菜、果物、花き、米、精肉、牛乳・卵、茸類の取扱高 ②島根県物産観光館における県産品取扱高 （+58,302千円） ③島根県物産観光館入館者数（+36,451人） ④食品産業アドバイザーによる新商品開発支援数 （+33件）	関連URL	島根県物産観光館 https://www.shimane-bussan.or.jp/sb/